



令和2年度市議会定例会9月会議

あらかわ一義  
市政だより  
そくさいかいね  
令和2年10月発行 No.70



■市長提案理由説明

▼令和2年度市議会定例会9月会議が、9月1日から9月18日の18日間を会期として開催されました。▼新型コロナウイルス状況について、県内では、カラオケや会食の場でのクラスターが発生するなど、感染者が急増しており、市民の皆様には、感染の第2波、3波に備え、引き続きマスクの着用、手洗いなど、「新しい生活様式」を徹底していただくようお願い申し上げます。▼先月から販売開始した「プレミアム商品券」ですが、8月28日までに、額面にして8億円を超える購入をいただいたと報告。市民の皆様には、どうぞ早めにお買い求めいただき、各店舗でご利用いただきたいとしました。また、令和2年4月28日から令和3年3月31日までの新生児に対する10万円の給付金については、すでに保護者からの申請受付を開始しており今月下旬から順次お届けするとしました。▼パトリアについて、外壁・内装工事を進めており、今年度末オープンを目指し、テナントの誘致に鋭意取り組んでいるとし、これに合わせて、2階の一部に食に関する様々な地域資源を活かした「クッキング広場」の設置を検討を進めており、この整備に必要な予算や管理運営に関する条例を早急に取りまとめるとしました。▼今、定例会の補正予算額は、3億854万6千円の追加補正を行い、補正後予算額は398億9,676万9千円としました。▼定例会の概ねを報告いたします。

■一般会計の補正予算額 3億854万6千円の増額

補正後予算額

	補正前予算額	補正後予算額	増減率
令和2年度	395億8,822万3千円	398億9,676万9千円	+0.8%

財源内訳

国庫支出金	1,079万9千円	県支出金	919万6千円
諸収入	60万円	分担金及び負担金	1,016万円
寄付金	4,040万5千円	市債	2,880万円
繰越金	4,858万6千円	繰入金	1億6,000万円

■一般会計主要事業内容(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
コミュニティセンター管理運営	徳田地区コミュニティセンターの合併処理浄化槽の整備に係る経費	10,499	地域づくり支援課
財産管理費	旧徳田小学校用地の確定測量、登記業務に係る経費	4,265	監理課
戸籍住民基本台帳システム管理	デジタル手続法改正に伴うシステム改修経費 内容・・・国外転出者によるマイナンバーカード等利用	6,259	市民課
民生委員活動事業費	県交付金増額に伴う民生委員活動推進事業補助金の増額 内容・・・県交付金単価600円増(対象民生委員179名)	108	福祉課
児童委員活動事業費	県交付金増額に伴う児童委員活動推進事業補助金の増額 内容・・・県交付金単価600円増(対象児童委員179名) 内容・・・県交付金単価1,200円増(対象主任児童委員25名)	138	
私立保育所施設整備費補助金	国庫補助基準額の増額等に伴う私立保育所施設整備補助 対象・・・聖母幼稚園 7,258千円 (仮称)田鶴浜こども園 1,157千円	8,415	子育て支援課



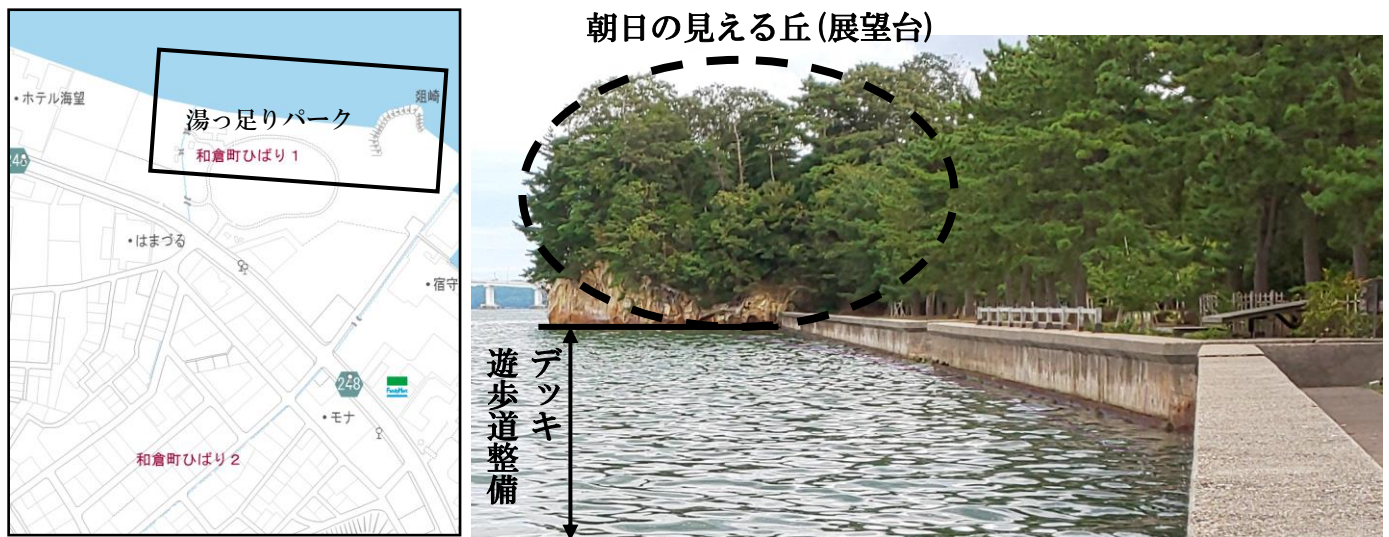
県営圃場整備事業費	○能登島長崎地区圃場整備事業費 9,000 千円 追加配分による負担金の増額(事業費 60,000 千円) 負担割合・国 55%、県 30%、市 10%、地元 5% ○三引地区圃場整備事業 19,500 千円 追加配分による負担金の増額(事業費 130,000 千円) 負担割合・国 55%、県 30%、市 10%、地元 5%	28,500	農林水産課
県営農業水路等	西下地区農業水路等長寿命化防災減災事業費 内容・西下水門の機能診断業務委託 (令和3年度から県営事業として整備予定)	770	
水産物販売促進緊急対策事業費	新型コロナウイルスの影響で滞留した地元食材を、生産者等が学校給食へ提供する経費に対する補助金 内容・能登ふぐ事業協同組合による能登ふぐの提供	2,600	
和倉温泉活性化等支援事業費	和倉温泉ウォーターフロント事業に係る経費(下図参照) 事業主体・一般社団法人ななお・なかのと DMO 事業内容・湯っ足りパーク護岸沿いデッキ遊歩道設置 展望台アクセス整備及び調査等	39,288	商工観光課
中学校管理費	七尾東部中学校大規模改修に伴う事前調査に係る経費 内容・改修箇所の特定及び具体化のための調査委託	1,848	スポーツ・文化課
文化財保護総務費	旧徳田小学校内保管の文化財資料移転、不用物品の処分 旧有磯小学校、旧高階小学校へ移転	9,300	
七尾城跡調査整備事業	旧城山園跡地における駐車場整備の追加工事に係る経費 内容・軟弱地盤解消のための地盤改良(5,400 m <sup>2</sup> )	11,383	
七尾美術館管理費	七尾美術館庭園池の復旧に係る経費 内容・復旧工事に向けた測量及び地下排水対策を含む 設計業務委託	1,716	
七尾駅前にぎわい館費	七尾駅前にぎわい館整備事業費 (仮称)市民交流・クッキングラボなどの施設改修経費	160,000	企画財政課

**■企業会計の補正予算額 3,551万4千円の増額**

会計補正予算の概要

	補正予算額	主な内容
病院事業会計(資本的支出)	35,514 千円	カテーテル検査機械器具の購入
計	35,514 千円	

**《和倉温泉ウォーターフロント事業計画(概略図)》**



## 【議会一般質問】

### ■ ふるさと納税特設サイトについて



新たな視点を見据え、特設サイト設置に取り組むべきだ。大きなメリットとして、固定の七尾ファンやリピーターを増やす事であり、この事は「関係人口」の増加にも繋がり、将来の七尾市にとって重要な位置づけになる。  
県内初の取組みとなるが、是非実現に結び付けより良い成果に期待したい。

- 1) 立ち上げはいつ頃を予定しているのか。
- 2) 立ち上げる特設サイトの特徴や、優位性についての考え。
- 3) 現在のふるさと納税の状況について。

**産業部長答弁** 1) 立ち上げは令和2年10月1日を予定。現在、その準備を進めている。  
2) 特徴は、七尾を知っていただくため大手の受付サイトでは出来ない、観光やイベント情報など七尾の魅力の発信や、さらなる返礼品の魅力伝えるため、商品と併せ生産者を紹介し、特設サイト限定品として四季折々の海産物の定期便や崎山いちご、沢野ゴボウなど、手に入りにくい品を取りそろえるなど、七尾の魅力を出していきたい。また、会員やリピーターの方々には、メルマガ等で旬な話題も提供していく。このサイトを設ける事でこれまで以上に七尾の魅力を発信し、知って味わい、訪れていただく事で七尾のファンやリピーターの増加、関係人口の拡大に努めていく。3) 8月末時点のふるさと納税状況は、件数4,032件、金額7,900万6千円であり、前年度対比110%となっている。基本的には年末、大体11月から寄付額が増えてくる。元年度の実績を超える形で持っていきたい。

### ■ パトリアの活用策について



粘り強い交渉の中で、「ドン・キホーテ」が出店の方向となった事は、歓迎したい。一方、他にも新規出店を計画もある事から、これらの事が市民や七尾のまちづくりに繋がり、活性化をもたらすのか、手放しでは喜んでいられない。「市民交流クッキング広場」の活用策に伴い、現在営業している飲食店に及ぼす影響の心配や、食祭市場での活用の方が良いなど、様々な意見が聞こえてくる。「にぎわい館」は、地域に寄り添い市民に愛される場所であり、「市民交流クッキング広場」が、この事に沿ったものである事を願う。改めてキーテナントの誘致活動状況と、駅前にぎわい館のコンセプト(ビジョン)である、「地域生活館」の実現のため、今後、より具体的にどう展開を図っていくのか。

**市長答弁** キーテナントとしての「ドン・キホーテ」が1階の大部分を使って、七尾や奥能登、中能登も含め七尾へ来るようになれば、ご心配の既存の事業者の経営が厳しくなるような事はないと思っている。中学生、高校生あたりが七尾線、能登線を使って七尾駅にやってくれば、駅前の賑わいも足も戻ってくると思っている。キーテナントの出店効果や2階で展開するクッキング広場、この2つの目玉が他の出店希望テナントの呼び水となるため、素晴らしいものにつくり込んでいきたい。2階には3分の2のスペースが残っているが、キーテナントと全くかぶる様なテナントが入るのは難しいのではいか。品揃え、あるいは店舗展開がどうなのか見極めなければならない。この事を踏まえ、かぶらないようなテナントをぜひ探して積極的に埋まる努力をしていく。チャレンジショップ、そしてサテライトオフィスの話もありますが、借りていただいて試してもらおう事になればと思っている。

クッキング広場をしっかりと作り込んで、  
鵬学園や市民の皆さん、団体や新たに出たい  
民間の事業者の料理店などをうまくコラボして、  
七尾にないような明るい空間、ライブ感のある  
空間に仕上げる事ができれば面白い施設になると  
思っている。



## ■ 光回線(光ファイバー)整備促進について

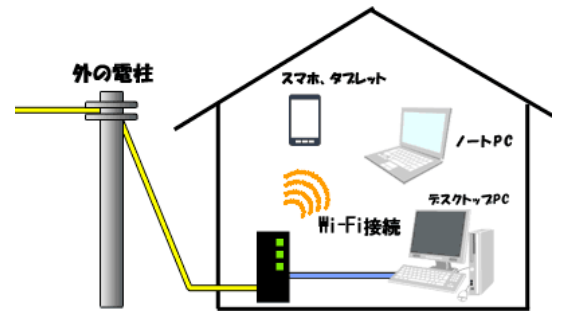


今後私たちは、コロナと共存していくウィズコロナ時代の覚悟が、求められているのではないかと考えている。そういった中で今回、改めて重要性を実感したのは、情報通信の需要と、そのための安定した

光ファイバー回線網の整備と言う事です。

この事は、地域の情報格差解消や、サテライトオフィスの誘致、学校教育の在宅学習(GIGA(ギガ)スクール構想)、人口減少による働き改革や地域経済の冷え込みなど、多くの事で需要が期待されます。情報通信は、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に、必要不可欠であり、そのための光回線の整備が急がれる。

### 光ファイバーの接続イメージ



- 1) 七尾市における光回線は現在どのような状況になっているのか。
- 2) 今後の七尾市における光回線整備促進について見解を伺う。

**市民生活部長答弁** 1) 国では毎年度全国の市区町村別に光回線の整備率調査を実施しており、七尾市と民間の通信事業者が整備したものを合計した平成30年度末の整備率は、87.65%という結果がでている。市内では、特に能登島地区のケーブルテレビ網が同軸ケーブルで整備されており、ほかの地区と異なり光回線が未整備状態となっている。

2) 高速大容量での通信環境を必要とするテレワークなどを普及、定着させていくためにも、本市としても光回線の整備拡充を図る必要がある。能登島地区を光で整備する場合、光回線を全面的に張り替えるため、総事業として5億から6億ほどかかると試算している。国の高度無線環境ですが、光ファイバーに張り替える事で、国の第2次補正で額を上げ能登島地区の整備財源の一つとしてこの補助事業を使う事であれば、この補助事業を使う事であれば、があるため、悠長なことは言って決めなければならない。の調整を進めている。



5億から6億ほどかかると試算している。国の高度無線環境ですが、光ファイバーに張り替える事で、国の第2次補正で額を上げ能登島地区の整備財源の一つとしてこの補助事業を使う事であれば、があるため、悠長なことは言って決めなければならない。の調整を進めている。

能登島地区の再整備に伴う費用は当然かかるが、それに伴って加入金の増額など新たな個人負担は考えていない。ただ、速度アップの事を検討している中で、コースが再設定され、そういった中では月額料金が多少変わる事も考えられるが、光ファイバーに張り替える事での個人的な負担は考えていない。

また、そのほかの市内既存のインターネットの通信速度については、速度アップしたいと考えており、現在、コース設定なども含めて検討を進めている。

### 教育民生常任委員会

